



後期中間の成績を送付します

保護者・生徒の皆さんへ ～進路実現に向けてラストスパート～

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より、本校教育活動の推進に対しまして、多大なるご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

2014(平成26)年も残すところ数日となりました。本校では先週末12月20日(土)より冬季休業に入り、生徒たちにとっては高校生活で最後となる長期休業を迎えています。と同時に、センター試験をはじめ一般受験を控える生徒たちは、最後の“冬季講習(前期4日間・後期5日間)”がスタートし、早朝から夕刻までビッシリと机に向かい、志望校合格をめざして必死に取り組んでいるところです。3年生は1月末から「家庭学習期間」となりますので、生徒たちが緑丘の学び舎に登校するのも、あと16日となりました(卒業式を含む)。しかし、まだ生徒全員の『卒業』が確定されたわけではありません。正式には休業明けの『学年末(卒業)考査』を経たのちに「卒業認定会議」が行われ、そこではじめて卒業が認定されます。すでに進路が決まっていたとしても、“進路決定＝卒業決定”ではありません。最後まで気を引き締めて学業に専念し、厳しく自己を律して学校や家庭での生活を送ってほしいと願っています。引き続き、家庭でのご指導のほどよろしく願いいたします。

さて、進路決定状況につきましては、12月15日現在で学年全体の58%にあたる91名の進路先が内定しました。とくに10月以降は、大学・短大・専門学校等の「推薦入試」が実施され、受験した生徒たちは日々「志望理由書」づくりや小論文添削・面接指導などに取り組んできました。昼休みや放課後などは、生徒どうしで模擬面接を行っている光景も見受けられ、積極性・熱意の高さがうかがえたものです。とはいえ「推薦入試」にも“ゼタイ(合格)”はなく、残念ながら努力が実らず厳しい結果となった生徒もいます。しかしながら、国公立大学で2名、私立大学・短大で22名、専門学校で10名の生徒が合格を勝ち取ることができました。また就職受験では、行政職や消防職において5名の生徒が難関試験を突破したほか、民間就職では希望者の約9割にあたる9名の生徒が内定を得ています。——合格とならなかった生徒たちもふくめ、これまでよく健闘してくれました。

■平成26年度 第30期生 進路決定状況 (12月15日現在) ※推薦は公募・指定校の合計

	国公立大学	私立大学	私立短大	看護専門	その他専門	公務員	民間就職
A O		1	1		31		
推薦	2	13	9	2	8		
一般		1		2	7	5	9
(計)	2	15	10	4	46	5	9

★おもな進路先(合格となった上級学校・就職内定先など)については裏面をご参照ください★

いよいよこれから一般受験を控える60名余りの生徒の皆さん。ご両親をはじめとする家族の方々、温かくも厳しい眼差しで叱咤激励してくれた先生方、そしていつも励まし合ってきた同学年の仲間たちが、志望校合格を心から祈っています。体調をよくととのえて、手を緩めることなく最後まで机に向かってください。いまは1分1秒がとても大切な時間です。“明日があるさ”と先延ばしはできません。とても苦しく、根気がいることだとは思いますが、しっかり頑張りましょう。この経験が皆さんの人生にとって大きな財産となるはずです。努力は人を裏切りません。

そして、進路が決定した皆さん。今年度のはじめに確認した合言葉をもういちど思い出しましょう。それは「進路実現はチームプレイ」であるということです。第30期生157名が、晴れ晴れと次なる人生の第一歩を踏み出すことができるよう、互いを気遣い、年明けの授業にもしっかり集中して取り組んでほしいと思います。

さいごに、去る11月25日(火)～28日(金)の4日間にわたり『後期中間考査』が実施されました。一部の生徒は推薦受験の準備等と重なり、普段どおりの成績が残せなかったかも知れません。また一般受験の生徒たちについても、だいぶ受験勉強のほうを優先した傾向があったかも知れません。しかしながら、多くの生徒たちが自覚をもって家庭学習に取り組み、学年全体で成績優秀者(評価平均7.5以上)の生徒が50名となりました。一方で、「1」がついた生徒はいなかったものの、残念ながら7名の生徒が成績不振者(評価平均4.0未満)となっています。無事卒業認定されるよう、苦手科目の克服や、欠席・欠課の多い生徒については体調管理・規則正しい生活を心がけてください。ご家庭におかれましても、ご指導のほどよろしく願い申し上げます。

★ 成績についてご留意いただきたいこと ★

① **学級・学年順位は「参考」です**：順位は「評価平均」で付けておりますが、3年次においては多数の選択教科が入っており、科目ごとの考査平均も異なりますので、必ずしも生徒全員が同じ条件であるとは言いきれません。それでも上位生徒の顔ぶれはやはり優秀な努力家です。

② **今回の成績が「最終」ではありません!**：一部の上級学校を除いては、ほぼ「推薦入試」が終了しました(センターを課す推薦入試などは年明けに出願・実施)。とくに「推薦」で合格が決まっている生徒については、今回の成績で評定平均が出願基準を下回っていないでしょうか。大学によっては、最終的な『成績証明書』の提出が求められます。進路が決まったからといって、決して学業をおろそかにしてはいけません。※**過去、出願時の成績より大幅に下がったとして合格が取り消しとなった事例もあります。なお学科試験を伴う「一般受験」については、学校の成績が合否の判断材料となることは基本的にありませんので、心配せずに自信をもって出願してください。**

★ 志望校が評定の具体的基準を設けていない場合(例えば「成績が優秀である者」「基礎的な学力を有する」などの表現)は、**大学は「3.5以上」、短大・専門学校は「3.0以上」となります。**

★ このほか、3年間の欠席が**15日**を超える場合も推薦されません(遅刻早退が多いのも同様)。

★ 言うまでもなく、成績不振・欠課超過の生徒は「**アルバイト禁止**」となります。



年末年始の事故防止にしっかり努めよう!

「自動車免許取得」や「アルバイト」などはルールと節度をまもって…

来春からの新生活に向けて、この冬休みから「自動車学校」への通学や、アルバイトなどを始める生徒たちも少なくありません。ただし、すでに生徒には周知しているところですが、自動車免許取得は、就職内定者が**冬休みから**、進学決定者は**家庭学習期間(1月末以降)から**となります。早い段階から通学を認めている近隣高校もあるようですが、本校は「学業第一優先」「事故防止(命を守る)」の観点から、学校生活に支障をきたさない長期休業・家庭学習期間のみ許可していますので、あらためて理解してください。

またアルバイトについても、年末年始の繁忙期で雇用者側の要望も大きいかとは思いますが、勤務時間を厳守しましょう(夜21時まで・週あたり労働時間20時間以内)。クリスマスやお正月などマチが賑やかになります。そのぶん、警察署や関係機関などが目を光らせています。些細なことで皆さんの将来に傷をのこすことのないように、非行事故や交通事故・トラブル等の未然防止に努めてください。小さな気の緩みが、大きな過ちにつながってしまわないように…。

受験計画を確認し、出願ミスのないように！



入試要項の熟読を～「調査書」などの発行願いは早めにしよう！～

年明けの1月17日(土)・18日(日)に『大学入試センター試験』が実施されます。本校生徒たちの受験会場は「室蘭工業大学」です。私大の「センター利用」をふくめ、現在のところ約30名の生徒がセンターを受験する予定となっています(受験票などを配付済です)。

センター試験終了後は大手予備校による“センターリサーチ”を行い、合格可能性の判定結果を待ちます。国公立大学については「前期」「中期」「後期」各1大学(学部・学科)のみしか出願できません。これに対して私立大学では、複数出願することができます。ただし、私大の「センター利用」は“センターの得点のみで複数受験できる”というメリットはありますが、「一般入試」よりも募集定員が少なく、割増・追加合格もあまり期待できません。私大受験の皆さんは、決して「センター利用」に依存・過信せず、とくに第一志望校については「一般入試」でも合格できる実力がつくよう、過去問など入念に取り組んでください。(たっぷりではないですが)まだ時間は残されています。

また、1月以降は「高等看護専門学校」の受験もピークをむかえます。看護志望の生徒は、管内の市立室蘭・日鋼記念・伊達赤十字をはじめ、札幌圏や遠方など3～5校を受験するのが“当たり前”です。大学もそうですが、入試方式・日程や出願方法など複雑多岐にわたります。不明な点は担任の先生や上級学校に問い合わせるなどして、出願ミスのないよう十分気をつけてください。



ゲーム・スマホ中毒になっていませんか…？

卒業後の新たな人間関係づくりにむけて～スマホ依存にならないように～

去る10月28日(火)7校時、本校体育館において『e-ネット安心講座』が実施され、講師としてe-ネットキャラバン協議会の中村研治さんをお招きし、インターネットの安心・安全に関する講演をしていただきました。本校では生徒のほぼ全員が携帯電話・スマートフォンを所有しており、授業中は使用していないものの、休み時間や放課後になると、多くの生徒が使用しています。日進月歩で高度化する情報機器・情報サービスですが、いまや「スマホ依存」は深刻な社会問題の一つとなっています。「コメントを書かなければ」という義務感や、「仲間はずれになるのでは」という恐怖感。あるいはゲームがやめられず、他の事に集中できない生徒。はたまた、面と向かった“リアルな交流”でないために、意思疎通のすれちがいや悪口の応酬が起こるなど、人間関係のトラブルが発生する危険性も多々あります。「親にスマホを没収された」というある生徒は、禁断症状がでるところか、返信・コメントの義務から解放され、逆に心が安らいだといいます。

スマホ・ネット・ゲームに依存的な状態となってしまうと、心身の健康をおびやかすばかりか、現実世界(人間関係)を煩わしく感じてしまい、他者とのコミュニケーションや協同作業ができなくなるなど、社会生活を送るうえで大きなマイナスとなってしまいます。残りわずかの学校生活ですが、スマホばかりに目を向けるのではなく、人どうしの交流をどんどんはかってほしいと思います。

★進路が決まった生徒は、くれぐれも「進路先」などの個人情報や受験の感想などをネットに書き込んだりしてはいけません。深刻な事態となれば合格が取り消されることもあります！



◆◆◆ 冬季休業明けは、平成27年1月14日(水)から登校です！ ◆◆◆

平成26年12月26日(金)：冬季講習「前期」終了

12月29日(月)：年末年始により閉庁日 ※1月3日(土)までは登校不可です

平成27年 1月 5日(月)：冬季講習「後期」スタート

1月14日(水)：休業明け全校集会・大掃除・教科授業(6校時まで)

1月17日(土)・18日(日)：大学入試センター試験(室工大会場)

1月19日(月)：センター試験自己採点・センターリサーチ

1月21日(水)・22日(木)：学年末考査

1月22日(木)：車両免許取得説明会(進学決定者向け・保護者も出席)

1月29日(木)：卒業認定会議

1月30日(金)：3年家庭学習期間開始(2月26日まで)

北海道伊達緑丘高等学校 第30期生 進路決定先 (12月15日現在)

国公立大学： 北海道教育大学、札幌市立大学

私立大学： 日本医療大学、北海道薬科大学(2)、北海道文教大学、北海道科学大学、北海学園大学(3)、北星学園大学(3)、札幌学院大学、藤女子大学、日本赤十字北海道看護大学、天理大学

私立短期大学： 光塩学園女子短期大学(3)、大谷大学短期大学部、武蔵女子短期大学、拓殖大学北海道短期大学、北海道科学大学短期大学部、

国立清水海上技術短期大学校、京都嵯峨芸術大学短期大学部、
高等看護専門学校： 伊達赤十字看護専門学校(2)、市立室蘭看護専門学院、日鋼記念看護専門学校、

その他専門学校： 北海道ハイテクノロジー専門学校(4)、日本工学院北海道専門学校(4)、北海道福祉教育専門学校(3)、吉田学園医療歯科専門学校(9)、北海道美容専門学校(2)、日本航空専門学校(2)、光塩学園調理製菓専門学校、愛犬美容看護専門学校(2)、北海道情報専門学校、大原簿記情報専門学校、札幌幼児保育専門学校、函館歯科衛生士専門学校、北海道歯科衛生士専門学校、札幌ベルエポック製菓調理専門学校、北海道医薬専門学校、北海道歯科学院専門学校、大原医療福祉専門学校、札幌放送芸術専門学校、専門学校札幌デザイナー学院、池見札幌歯科衛生士専門学校、専門学校札幌マンガ・アニメ学院、札幌こども専門学校(2)、札幌ビューティーアート専門学校(2)、札幌医療秘書福祉専門学校(2)

公務員就職： 伊達市役所、洞爺湖町役場、西胆振消防組合、室蘭市消防(2)

民間就職： 日本郵便株式会社北海道支社、プライフーズ株式会社、株式会社ナガワ、大高酵素株式会社伊達工場、登別グランドホテル、社会福祉法人思誠会、大和旅館、株式会社ドン・キホーテ、

※カッコ内の数字は合格者数です。

最後になりますが、今年1年間、本校ならびに3学年の教育活動に対しまして、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。生徒やご家族のみなさまにとって、良い1年が迎えられますようご祈念いたします。